

登録コード	UAG07500	開講年度	2026				
授業題目	経済・経営データ分析演習					担当教員	元山 齊
						副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・経済学, 2 5 UAカリ・総人社・経済学, 2 4 UAカリ・総人社・経済学						
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。					経済学分野で用いられる統計手法を用いて、標準的な統計ソフトを使って自らデータ分析できるようになる。	
(2)授業の概要	この授業では、経済・経営データを分析するための方法論を修得し、Rなどの経済・経営分野で標準的に用いられている統計ソフトを使って、実際のデータ分析を修得します。まず、回帰分析の理論的枠組みを学び、サンプルデータを用いてRなどの統計ソフトを使って、コマンド操作を修得します。次に回帰分析では外すことのできないt検定やF検定の活用方法を学びます。とりわけ、統計ソフトに実装されてない仮説の検証方法を、サンプルデータを使って検証します。さらに、回帰分析で置かれる標準的な仮定を1つ1つ外していく作業を行い、不均一分散とその対処法、内生性と操作変数法を学び、またパネルデータ分析についても修得します。次に、個票データを分析するための方法論として、ロジット・プロビットモデル、トービットモデルを学びながら、最尤法の技術を修得します。政策効果を測定するために、差の分析、回帰不連続デザインなどを修得します。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とします。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせします。						
(3)授業計画	授業は8月後半から9月、後期にかけて受講者の皆さんと日程を調整して実施します。後期の学期期間に授業を実施する際は、授業担当者の予定の関係上水曜日、木曜日、金曜日の実施となることに気をつけてください。 第1回： イントロダクション：計量経済学とは 第2回： コンピュータソフトによる回帰分析と検定 第3回： 不均一分散の検定と対応策 第4回： 内生性の検定と2段階最小2乗法 第5回： パネルデータ 第6回： stataとRによるパネルデータの推定と検定 第7回： ロジット・プロビットモデルの理論的背景 第8回： stataとRによるロジットモデル・プロビットモデルの推定と検定 第9回： トービットモデルの理論的背景 第10回： stataとRによるトービットモデルの推定 第11回： 差の差の分析の理論的背景 第12回： 差の差の分析の推定 第13回： 回帰不連続デザインの理論的背景 第14回： 回帰不連続デザインの推定 期末試験の有無：無し 進度や理解状況を勘案して、各回の順序や一部内容は変更の可能性がある。						
(4)成績評価の方法	- 以下を総合して判定する。 授業で修得した分析方法による宿題（2回、各30%）、期末レポート（40%） 期末レポートの提出については、2027年1月ごろを予定している。その他の宿題の出題時期と提出時期については、授業内において周知する。 評価割合は若干の調整を行うことがある。平常点を重視するので、授業には毎回出席すること。（社会人大学院生の方のお仕事の都合は考慮致します。） - 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。						
(5)成績評価の基準	授業で説明した計量経済学の内容の復習レベルの宿題とレポートができれば「水準にある（可）」、応用的な分析が宿題でできれば「やや上にある（良）」、応用的な分析を宿題と期末レポートでできれば「かなり上にある（優）」、応用レベルの宿題とレポートが自律的に考える力を用いて優れた水準で対応できれば「卓越している（秀）」。						
(6)事前事後学習の内容	授業時にはサンプルデータを提供し、授業時にプログラムを作成してもらいます。宿題が課されていない場合でも、自らデータを収集して、自主的にプログラムを走らせて、分析できるかを確かめるようにしてください。また予習すべき範囲についても指示をしますので、その範囲の文献を必ず熟読してください。						
(7)履修上の注意	授業内で分析を行うためのサンプルデータを提供します。演習をしながら授業を進めるので、ノートPCを持参してください。事前にRをインストールしておいてください。						
(8)質問、相談への対応	授業内で積極的に質問をしてください。メールでの質問も受け付けます。						
【教科書】	特に使用しない。						
【参考書】	Wooldridge, J.M. (2019), Introductory Econometrics: A Modern Approach 7th ed., South-Western Pub, Mason, OH. Wooldridge, J.M. (2010), Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data, MIT Press, Cambridge, MA.						